

ΚΟΣΜΟΣ



コスモス No. 76 1987 冬

特集

哲学館講師著作案内

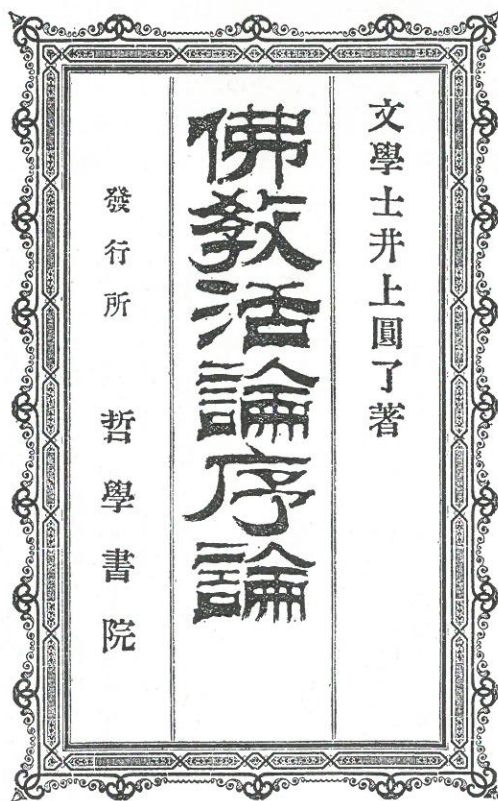
—見つめ直そう哲学館—

佛
教
活
論
序
論

人誰レカ生レテ國家ヲ思ハサルモノアラシヤ人誰レカ學ンテ
眞理ヲ愛セサルモノアラシヤ余ヤ鄙賤ニ生レ草莽ニ長シ加フ
ルニ菲才淺學ナルモ亦敢テ護國愛理ノ一端ヲ有セサルモノニ
アラス朝雨暮風ニ接スル毎ニ未タ曾テ護國ノ情ヲ動かサハ
ハナク春花秋月ニ遇フ毎ニ未タ曾テ愛理ノ念ヲ發セサルハナ
シ此情此念相結ンテ余カ一片ノ丹心トナル余能ク此心ヲ養ヒ
此心亦能ク余ヲ護ス家貧フシテ敝衣凍寒ヲ防クニ足ラスト雖
モ幸ニ此心ノ存スルアリテ滿身爲メニ煖ヲ加ヘ菲食飢渴ヲ支
フルニ足ラスト雖モ又幸ニ此心ノ盈ツルアリテ全身爲メニ肥

佛
教
活
論
序
論

雨水 井上 圓了著



貴重書から

『古今和歌集』

—伝二条為世筆写本—

橋 り つ

平安時代になって歌集が勅撰されたということは、画期的な出来事である。古今和歌集がその第一番目の勅撰和歌集であり、かつ形式も内容も最上のできばえのものの一つであることは、和歌史の上に重大な意味をもっていると言える。

本学図書館蔵の『古今和歌集』(K911. 1351: K-22)一冊は、伝二条為世筆写本である。列帖装、縦24.5cm、横16cm。表紙は緑地に金の鳳凰唐草模様の古代裂れで、外題はない。見返しは、金銀砂子を用いた雲型模様に銀箔が散らしてある。料紙は鳥の子。本文は墨付第一丁裏から書き始めている。序は一面八行、和歌は十行書きで、一首を一行に書く。総紙数は百五十六丁(うち遊紙は、首一丁半、尾一丁半、その他半丁ずつの白紙が二丁半分ある)、墨付は百五十丁半である。すべて墨書。朱はない。総歌数は千百十首(墨滅歌を含

む。恋歌五の中で一首欠)。全二十卷。巻頭に仮名序が、巻末に真名序がある。奥に墨筆で、

右為世卿尊筆也 尤可謂家珍耳 寛永九年清和廿一莫 特進藤(花押)

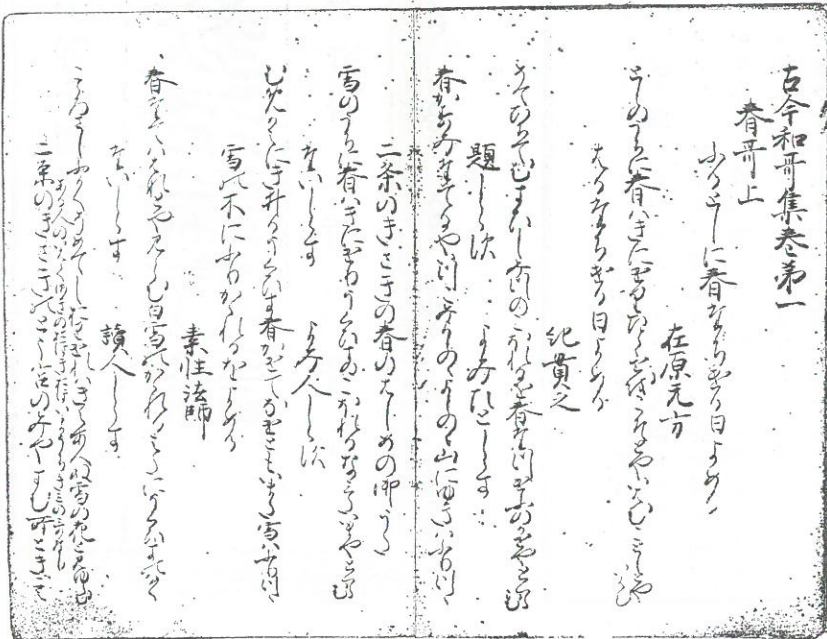
と記す。桐箱入りで、「二条為世卿筆 古今和歌集 一帖」の箱書がある。また、了仲の極書が、古今和歌集上 二条家為世卿真毫古証有之不涉異論者也 黄金式枚 宝永三年極月上旬 古筆了仲(朱印)

とある。蔵書印は「月明荘」と尾にある。

古今和歌集は伝本の種類が多い。主な完本には定家本(貞応本・嘉祿本・伊達家本等)・俊成本・雅経本・清輔本・元永本などがある。本書は、そのうちの定家本の貞応本の系統と考えられる。真名序を持ち、仮名序に「あさかやま」の歌を欠く等も理由の一つである。また、普通は十八・十九の配列である和歌が本書では逆になっている。この点も、梅沢本二条家相伝本(貞応二年本・日本古典文学大系所収)と一致している。なお、本書には、料紙二枚の折り違いがあり、そのため、本来は巻第十八雑歌下にあるべき歌二十二首(942~963)が、巻第十七雑歌上に誤入している。

<注> 二条為世は鎌倉・南北朝期の歌人。建長二~暦応元(延元三)年(1250~1338年)。

(文学部教授 たちばな りつ)



—伝二条為世筆写本『古今和歌集』巻第一・春歌の冒頭の部分—

特集 哲学館講師著作案内

— 見つめ直そう哲学館 —

昨年11月、チベット大学長ツーワンチュルメイさんが来館されました。チベット大蔵経（ニンマ版）をご覧にいらしたところ、大変感激された上、民族文化の継承と改革が私の使命です、と語られたのが印象的でした。くしくも、日本人のチベット旅行のさきがけをなした河口慧海は、哲学館の出身です。慧海も亦、同じこのキャンパスに立って、遠いチベットの空に思いをはせたのでしょうか。歴史の重みを感じさせる縁です。

東洋大学の歴史は、哲学館にはじまります。当時は、まさに進取の気性に富み、清新の気がみなぎる草創期でした。そこには慧海以外にも、有為の人材が多く集まっていました。安藤正純、林竹次郎（古溪）、和田性海（不可得）、正富由太郎（汪洋）ほかの人々です。彼らは、井上円了をはじめ尾上八郎（柴舟）ら優れた講師陣の指導を得て、それぞれの世界を切り拓き、後年はなばなしい活躍をします。

本年、東洋大学は第2世紀を迎えました。新しい時代の到来です。第3次建学の時代ともいわれています。いわば、第2の哲学館時代といってよいでしょう。今回、哲学館時代の講師の著作ガイドを試みました。もとより講師それぞれの膨大な業績のすべてを当館で所蔵しているわけではありません。ただ、各分野の権威や気鋭の研究者が、開設まもない哲学館で起こったことの意味を、その著作をとおしてあらためて問い直してみたいと意図したからです。

なお、この機会に、現在当館ですすめている哲学館講師の著作収集について「コスモス」愛読者の皆さんの絶大なご協力をお願いします。



井上円了・河口慧海・大宮孝潤
（明治35年12月18日、印度にて）

（註）ここでいう哲学館講師とは、哲学館時代（開設時から明治36年に哲学館大学と改称するまで）に在職経験をもつ常勤・非常勤の講師を指します。又、紙面の都合上、講師のうち各種の人名辞（事）典に収録されていて、明治年間に刊行された著作を当館で所蔵する人物（53名）に限定しました。

姉崎正治（嘲風） 明治6—昭和24 評論家、宗教学者。 印度宗教史（金港堂，明治30，160.225：AM） 現身仏と法身仏（有朋館，明治37，182.2：AM） 復活の曙光（有朋館，明治39，160.4：AM） 2） Religious history of Japan； an outline（姉崎正治，1907，160.21：AM） 3） 〔訳書〕 ショペンハウエル：意志と現識としての世界（博文館，明治43—44，134.57：SA） 11）

市村讚次郎（器堂） 元治1—昭和22 東洋史学者。支那史要（吉川半七，明治27，222.01：IS） 3）

井上円了（雨水） 安政5—大正8 仏教哲学者。 哲学一夕話 第1編（井上円了，明治19，E104：I

E） 同第2編（哲学書院，明治19，E104：IE） 同第3編（哲学書院，明治20，E104：IE） 真理金針初編（山本活版所，明治19，E181.1：IE） 3） 同続編（同上） 同続々編（西村七兵衛，明治20，E181.1：IE） 5） 仏教活論序論（哲学書院，明治20，E181.1：IE） 同本論第一編 破邪活論（哲学書院，明治21，E181.1：IE） 同本論第2編 顕正活論（哲学書院，明治23，E181.1：IE）

井上哲次郎（巽軒） 安政2—昭和19 哲学者、詩人。 倫理新説（文盛堂，明治16） 哲学字彙（東洋館書店，明治17，103：IT） 勅語衍義（井上蘇吉・井上弘太郎，明治25） 哲学叢書（集文閣，明治33） 日本陽明学派之哲学（富山房，明治34，

- 121.5 : I T : 2) 日本古典派之哲学(富山房, 明治35, 121.6 : I T) 菅公事蹟(国文社, 明治35) 巽軒講話集(博文館, 明治35—36, 121.9 : I T—3) 釈迦牟尼伝(文明堂, 明治36, 182.8 : I T : 2) 日本朱子学派の哲学(富山房, 明治38, 121.4 : I T : 2) [共編] 武士道叢書(博文館, 明治38, 156.08 : B—2)
- 上田敏** 明治7—大正5 明治の文学者, 詩人。詩聖ダンテ(金港堂, 明治34)
- 遠藤隆吉** 明治7—昭和21 社会学者。社会史論(同文館, 明治38) 支那思想發達史(富山房, 明治40, 122 : ER : 2) 近世社会学(成美堂, 明治41, 361 : ER : 1) 東洋倫理学(弘道館, 明治42, 150.22 : ER) 孔子伝(丙午出版社, 明治43, 124.2 : ER) 東洋倫理研究(弘道館, 明治44) 経外遺伝逸語訓訳(博文館, 明治44, 123 : S T)
- 大内青巒** 弘化2—大正7 明治時代の僧侶。護法談(鴻盟社, 明治16, 188.54 : D—2) 日本仏教史略(鴻盟社, 明治17, 180.21 : OS) 曹洞宗両祖伝略(鴻盟社, 明治17, 188.82 : OS) 続日本高僧伝(鴻盟社, 明治17, 180.21 : D) 校補唯識大意(鴻盟社, 明治18, 188.24 : R—2) 鼈頭六合釈講義(鴻盟社, 明治19, 188.241 : OS) 冠註孝論(鴻盟社, 明治19, 181.8 : OS) 因明入正理論科註校本(鴻盟社, 明治19, 181.9 : M : 2) 冠註唯識論術記(鴻盟社, 明治19, 183.94 : OS) 冠註衆寮箴規校本(鴻盟社, 明治19, 188.86 : OS) 熱海独案内(鴻盟社, 明治22, 921.54 : OS) 遺教経講義(国文社, 明治28) 般若心経講義(丹靈源, 明治33) 碧巖集講話(秀英社, 明治40—42, 188.84 : OS) 仏教の根本思想(上宮教会出版部井冽堂, 明治41)
- 岡本監輔**(韋庵) 天保10—明治37 明治時代の樺太探検家。岡本子(岡本活版所, 明治22) 祖志(岡本監輔, 明治23) 国文の榮(日新舎, 明治33) 孝経頌義(上海商務印書館, 明治34, 123.7 : OK)
- 織田得能** 万延1—明治44 真宗大谷派の僧。和漢高僧伝(光融館, 明治28, 180.21 : OT—3) 仏教通俗講義七十五法名目(光融館, 明治28, 180.34 : OT) 仏教金言集(光融館, 明治34) 八宗綱要講義(光融館, 明治42, 188 : OT) [共著] 三国仏教略史(吉川半七, 明治23, 180.2 : S M)
- 落合直文** 文久1—明治36 明治時代の国文学者, 歌人。国文評釈(博文館, 明治25—26) ことばの泉(大倉書店, 明治31, 813.1 : ON) [共著] 大鏡詳解(明治書院, 明治32—33, 913.393 : ON)
- 尾上八郎**(柴舟) 明治9—昭和32 歌人, 国文学者, 書家。梨壺の五歌仙(明治書院, 明治35)
- 加藤玄智** 明治6—昭和40 宗教学者。問答体哲学小史(右文館, 明治33, 130.2 : KG—2) 我建國思想の本義(目黒書店, 明治45, 121.1 : KG)
- 加藤弘之** 天保7—大正5 幕末, 明治時代の学者。主権政体略(上州屋総七, 慶応4) 真政大意(谷山楼, 明治3) 人権新説(加藤弘之, 明治16, 313.19 : KH) 強者の権利の競争(哲学書院, 明治26, 321.1 : KH—3) 道德法律之進歩(敬業社, 明治27) 道德法律進化の理(博文館, 明治23, 321 : KH : 2) 仏教改革談(金港堂, 明治35) 進化学より觀察したる日露の運命(博文館, 明治37) 吾国体と基督教(金港堂, 明治40) 迷想的宇宙観(丙午出版社, 明治41, 121.9 : KH : 4) 自然界の矛盾と進化(金港堂, 明治41) 基督教の害毒(金港堂, 明治44, 155.2 : KH) [共著] 中等教科明治女大学(大日本図書, 明治39—40, 375.353 : KH : 2)
- 清沢満之** 文久3—明治36 明治中期の僧(真宗大谷派)。[共著] 精神主義(浩々洞, 明治35)
- 清野勉** 嘉永6—明治30, 明治時代の哲学者。帰納法論理学(哲学書院, 明治26, 116 : S T) 普通論理学(内田老鶴圃, 明治27—28, 116 : S T : 2) 標註韓図純理批判解説(哲学書院, 明治35)
- 栗田寛** 天保6—明治32 幕末, 明治の史学家。勅語講義(野口竹次郎, 明治25) 新編常陸国誌(加納與右衛門, 明治32—34, 291.31 : NN) 新撰姓氏録考証(吉川半七, 明治33, 288.1 : KH) 栗田先生雑著(野村宗十郎, 明治33—34, 210.04 : KH) 古風土記逸文考証(大日本図書, 明治36, 291 : KH)
- 黒川真頼**(荻齋) 文政12—明治39 国学者。黒川真頼全集(国書刊行会, 明治38—大正11, 081.16 : K—3)
- 桑原隲藏** 明治3—昭和6 明治—昭和時代の東洋史学者。中等東洋史(大日本図書, 明治31,

- 220 : K J : 2) 初等東洋史 (大日本史, 明治32,
220 : K J : 3)
- 小中村清矩** (陽春廬) 文政8—明治28 明治前期の国学者。陽春廬雑考 (吉川半七, 明治30, 210.04 : KK) 国史学の栞 (勉強堂, 明治33, 210.031 : KK) 歌舞音楽略史 (明治書院, 明治36, 768.02 : KK)
- 小柳司気太** 明治3—昭和15 中国哲学者。宋学概論 (哲学書院, 明治36, 125.4 : K S-2)
- 斎藤阿具** 慶応4—昭和17 歴史家。西力東侵史 (金港堂, 明治35, 220.5 : S A)
- 境野哲** (黄洋) 明治4—昭和8 明治—昭和時代の仏教史学家。仏教史要 (鴻盟社, 明治34, 180.21 : S T : 2) 印度仏教史綱 (森江書店, 明治35, 180.225 : S T : 1) 時代宗教 (鴻盟社, 明治38, 180.4 : S T) 印度支那仏教史要 (鴻盟社, 明治39, 180.225 : S T : 2) 聖徳太子伝 (丙午出版社, 明治41, 210.33 : S T)
- 沢柳政太郎** 慶応1—昭和2 明治後半および大正時代の教育家。教育者の精神 (沢柳政太郎, 明治28) 読書法 (高橋儀市, 明治33) 孝道 (富山房, 明治43, 152.6 : S M) [共著等] 普通心理学 (富山房, 明治27, 140.1 : S M) ペスタロッチ (金港堂, 明治39, 371.234 : P J : 4)
- 重野安繹** (成斎) 文政10—明治43 修史家。教育勅諭衍義 (榊原友吉, 明治25, 155.3 : S Y) 成斎文初集 (富山房, 明治31, 919.6 : S Y-2 : 2) 大日本維新史 (善隣訳書館, 明治32) 国史綜覧稿 (静嘉堂, 明治39, 210.3 : S Y) 成斎文二集 (富山房, 明治44—大正15, 919.6 : S Y-2) [共著等] 漢和大辞典 (三省堂, 明治36, 813.2 : S) 支那疆域沿革略説 (富山房, 明治35, 222.01 : S Y) 日本武士道 (大修堂, 明治42, 156 : S Y)
- 島地黙雷** 天保9—明治44 明治仏教界の巨星。船舟讚講語 (仏教図書出版, 明治34, 188.61 : S M) [共著] 三国仏教略史 (吉川半七, 明治23, 180.2 : S M)
- 积宗演** (洪岳) 安政6—大正8 明治の傑僧。錫嶮島志 (弘教書院, 明治23)
- 関根正直** (吟風) 万延1—昭和7 明治大正昭和時代の国文学者, 教育家, 故実家。国語学 (弦巻書房, 明治24, 810.1 : S M) 国語学参考 (六合館弦巻書店, 明治26) 歴代文学 (哲学書院, 明治28, 910.2 : S M) 装束図解 (国学院, 明治30, 383 : S M) 教科適用中古文選 (目黒甚七・河出静一郎, 明治34) 装束甲冑図解 (六合館, 明治35, 210.09 : S M : 4) 禁秘抄积義 (吉川半七, 明治35, 210.09 : S M : 3) 公事根源新釈 (六合館書店, 明治36) [共著等] ふでのゆきかひ (大倉書店, 明治26, 816.8 : S M) 標注染花物語抄 (六合館, 明治28, 813.392 : I Y)
- 高島嘉右衛門** (呑象) 天保3—大正3 幕末明治時代の実業家, 易学大家。高島易断 (高島嘉右衛門, 明治19, 123.1 : T K)
- 高瀬武次郎** (惺軒) 明治1—昭和25 中国哲学研究家。精神教育陽明学階梯 (鉄華書院, 明治32, 125.5 : T T : 5) 陽明学新論 (榊原文盛堂, 明治39, 125.5 : T T : 4) 日本之陽明学 (榊原文盛堂, 明治40, 121.5 : T T) 老荘哲学 (榊原文盛堂, 明治42, 126 : T T) 支那哲学史 (文盛堂書店, 明治43, 122.02 : T T)
- 高山林次郎** (樗牛) 明治4—明治35 明治中期の文学者, 評論家。菅公伝 (同文館, 明治33) 樗牛全集 (博文館, 明治38—大正13, 914.6 T R)
- 竹添進一郎** (井井) 天保12—大正6 明治時代の外交官, 漢学者。左氏会箋 : 漢文体系 (富山房, 明治44, 082 : K-2 : 1—10/11)
- 坪井九馬三** 安政5—昭和11 明治—昭和に互る史学者。稿本最近世界史 (富山房, 明治3, 209.5 : T K)
- 坪井正五郎** 文久3—大正2 明治大正時代の人類学者。人類学叢話 (博文館, 明治40, 469 : T S-2)
- 内藤耻叟** (碧海) 文政9—明治35 明治時代の史学者。開国起源安政紀事 (東涯堂, 明治21) 国体発輝 (野口竹次郎, 明治22) 徳川十五代史 (博文館, 明治25—26, 210.5 : N C) 破邪論集 (哲学書院, 明治26) [共著] 参訂保元物語註釈 (青山清吉, 明治39, 913.44 : N C : 2) 参訂平治物語註釈 (青山堂書房, 明治43, 913.44 : N C)
- 中島徳蔵** 元治1—昭和15 倫理学者。倫理学講義 (富山房, 明治32, 150.1 : N T) チュ井一氏倫理学綱要 : 倫理学書解説 (育成会, 明治33—35, 150.8 : R-3) 実践道德講話 (中国新聞社, 明治41,

- 150 : NT) 実践倫理講話(同文館, 明治43, 150 : NT : 2) [共著] 中等教科明治女大学(大日本図書, 明治39—40, 375.353 : KH : 2)
- 南條文雄**(碩果) 嘉永2—昭和2 明治大正の梵語学者。A short history of the twelve Japanese Buddhist sects(仏教書英訳出版社, 1886, 188 : NB) 歎異鈔講話(無我山房, 明治41, 188.74 : NB) [訳書] 仏説無量寿経梵文和訳(無我山房, 明治41, 183.53 : M : 3) [共編] 和英大辞典(三省堂, 明治35, 833 : BF)
- 根本通明** 文政5—明治39 明治初期の漢学者。周易象義弁正(根本通明, 明治34, 123.1 : N)
- 野口之布**(犀陽) 天保1—明治31 金沢藩の志士。犀陽遺文(野口遵, 明治34, 121.49 : N)
- 萩野由之**(和葬) 万延1—大正13 明治大正時代の修史家。新編御伽草子(誠之堂, 明治34, 913.49 : HY) 大平記註釈(誠之堂, 明治34, 913.46 : K) [共著等] 校訂大鏡(六合館, 明治32, 913.393 : O : 7) 日本制度通(吉川半七, 明治22—23, 210.1 : HY : 2) 日本古代法典(博文館, 明治25, 320.91 : HY)
- 波多野精一** 明治10—昭和25 宗教哲学者。西洋哲学史要(大日本図書, 明治40, 130.2 : HS : 3) 基督教の起源(警醒社, 明治41, 190.2 : HS : 3)
- 藤田豊八**(劍峰) 明治3—昭和4 東洋史学者。支那文学史稿先秦文学(東華堂, 明治30, 920.23 : FT)
- 穂積陳重** 安政3—大正15 明治大正時代の法学者。法典論(哲学書院, 明治23, 310.7 : HN)
- 前田慧雲**(止舟) 安政4—昭和5 近代仏教学, 特に天台学の泰斗。六合釈略決(前田恵雲, 明治13, 188.241 : ME) 真宗問答(興教書院, 明治33) 大乘仏教史論(文明堂, 明治36) [共著] 略述真宗教史(文明堂, 明治35, 188.72 : ME-2)
- 松本文三郎** 明治2—昭和19 インド哲学者, 仏教学者。印度雑事(六盟館, 明治36) 新論理学(金港堂, 明治37, 116 : MB) 宗教と哲学(丙午出版社, 明治39, 180.4 : MB) 達磨(図書刊行会, 明治44, 188.82 : MB) 彌勒浄土論(丙午出版社, 明治44, 182.3 : MB)
- 三宅雄二郎**(雪嶺) 万延1—昭和20 思想家, 文芸評論家。王陽明(政教社, 明治26, 125.5 : M Y)
- 村上專精**(不住) 嘉永4—昭和4 仏教史学者。科註大乘起信論(哲学書院, 明治22, 183.95 : M) 仏教忠孝編(哲学書院, 明治26, 181.8 : MS) 日本仏教史綱(金港堂, 明治31—32, 180.21 : MS-3) 仏教統一論(金港堂, 明治34—38, 180.1 : MS) 活用講述因明学全書(哲学書院, 明治36, 181.9 : MS) 大乘仏説論批判(光融館, 明治36, 181.02 : MS) 女子教育管見(金港堂, 明治38) 誠のしるべ(鶏声堂, 明治41, 159 : MS-2) 仏教概論(光融館, 明治42, 181 : MS-2) [共著] 仏教通俗講義因明学・本作法(光融館, 明治30)
- 元良勇次郎** 安政5—大正1 心理学者。教育新論(元良勇次郎, 明治17) 倫理学(富山房, 明治26, 150.1 : MY) 現今将来倫理及宗教(勉強堂, 明治33, 150.4 : MY) 教育と宗教との関係(光融館, 明治33) 論文集(弘道館, 明治42, 104 : MY)
- 森林太郎**(鷗外) 文久2—大正11 明治大正の文学者, 医学者。烟塵(春陽堂, 明治44) かげ草(春陽堂, 明治44)
- 八杉貞利** 明治9—昭和41 ロシア語学者。外国語教授法(宝永館書店, 明治34)
- 山口子太郎** 慶応3—大正6 ドイツ語学者。[共訳] 小学校教授の原理(同文館, 明治33, 371.1 : RW)
- 湯本武比古** 安政4—大正14 明治大正の教育家。新編教育学(普及舎, 明治27) 学童百話(湯本武比古, 明治31) ちよくごとくほん(湯本武比古, 明治33) 中等教育聖諭之架(湯本武比古, 明治35) 国民道德之涵養(開発社, 明治35) 学校家庭修身教材菅公之話(湯本武比古, 明治35) [共著等] 日本倫理史稿(開発社, 明治34, 150.21 : YT-2 : 2) 日本倫理史要(開発社, 明治42, 150.21 : YT-2)
- 吉谷覚寿** 天保14—大正3 近代の真宗学者。三国仏法伝通縁起講述(法蔵館, 明治29, 180.2 : G-2 : 2)
- 吉田熊次** 明治7—昭和39 教育学者。教育的倫理学(弘道館, 明治43, 371.6 : YK)

なるほど ザ・ハイテク (2)

高分子材料について

吉田 泰彦

私達の身の回りを眺めてみると、現代の日常生活は高分子材料の上に成り立っているといっても過言ではない。衣食住を考えてみても、天然・合成繊維の衣料を身に纏い、天然高分子であるデンプン・蛋白質を食し、木材・新建材・断熱材などの高分子材料で造った住居で暮している。さらに玩具、文具から日用雑貨品、電気製品、自動車、航空機などの材料、塗料、接着剤、内装材など枚挙にいとまがない。

これだけ日常生活にとけ込んでいる高分子材料も、さらにいろいろな機能を持つ材料が開発され、私達の生活を豊かにしてくれている。例えば、従来合成繊維は肌着には不向きと考えられていたが、繊維に微細孔をつけるなどの加工をした吸水性繊維が開発されている。さらに、外部の水は通さないが、分子状の水蒸気（気化した汗）は自由に外部に発散できるという素材も開発された。スエード調人工皮革も広く使われるようになってきているが、これは、従来不可能であった極細繊維の製造が可能となったからである。また、自重の数百倍もの水分を保持できる高吸水性樹脂も開発され、医療・生理用品、紙おむつ、土壌改良材等に利用されている。接着剤は日常生活で広く使われているが、医療でも手術の縫合に代わって使用されたり、自動車・航空機などの組立に使われたり、多様化している。

さらに高分子材料はその機能をアップして、エレクトロニクス、ニューメディア、バイオテクノロジーなどと共に次世代を担う先端材料として期待される。例えば、金属代替材料としてのエンジニアリングプラスチック（エンブラ）・鉄より強くアルミより軽い超高強度高分子材料（アラミド繊維、炭素繊維など）、感光性樹脂・高機能分離膜・導電性高分子・圧電性高分子などの新しい機

能性を持つ高分子材料、複合材料、である。エンブラ等の高分子材料は、自動車では省エネルギーなどの面から軽量化、防錆化のために、重量の10%弱が使われており、高分子材料の発展と共にその割合は、さらに増えるであろう。スペースシャトルでも、超高強度耐熱性高分子材料が多く使われ、これまでの宇宙開発に於て果たした役割は非常に大きい。

感光性樹脂は、活字を使わない印刷を可能にし、IC回路の作製にも不可欠である。しかし、超LSIの開発のためには、IC回路の超微細化が重要であり、高解像度の感光性樹脂の開発が必要とされる。また、現行のICの代わりに、より高集積化のために分子素子やバイオチップの開発が期待され、ここでも高分子材料の役割は大きい。

この様に、高分子材料は現代生活を豊かにするばかりでなく、他分野の進歩と共に、ハイテク化、軽薄短小化、高集積化の先端材料として、その開発、発展が期待される。

（工学部助教授 よしだ・やすひこ）

～～～ 文献ガイド ～～～

- ・高分子材料のすべて 長谷川正木著 日本工業新聞 1985
- ・ポリマーラウンジ 田所宏行編著 化学同人 1985
- ・ポリマーサイエンス 高分子学会編集 講談社 1982
- ・ポリマー材料 瓜生敏之、堀江一之、白石振作著 東京大学出版会 材料テクノロジー16 1984(川)501.4: Z:1-16
- ・化学への招待 上野景平著 化学同人 1986
- ・入門高分子材料 高分子学会編集 共立出版 1986
- ・機能性高分子材料 加藤順監修 オーム社 1985
- ・未来を拓く先端材料 島村昭治編著 工業調査会 1982
- ・ハイテク激戦区 志村幸男他著 評論社 1986
- ・身近な化学 W. リックスナー、G. ウェクナー著、須賀恭一、岩淵晋訳 講談社 1982
- ・選ぶ・造る・使う 伊保内賢、中村次雄共著 工業調査会 1983
- ・現代電子材料 馬場宣良、本間英夫、逢坂哲彌、小山昇著 講談社 1985

図書館 あ・ら・かると

★ 白山だより ★

海外からの見学者

- 10月25日 中国 上海社会科学院 金志堃青少年研究所副所長 (10月13日朝霞分館も見学)
- 11月8日 中国 チベット大学 ツーワンチュルメイ (次旺俊美) 学長他4名



図書館屋上にて記念撮影 ツーワンチュルメイ
チベット大学学長 前列向って右から四人目

- 11月12日 中国 上海対外貿易学院 陳天章副院長他3名 (11月11日朝霞分館も見学)

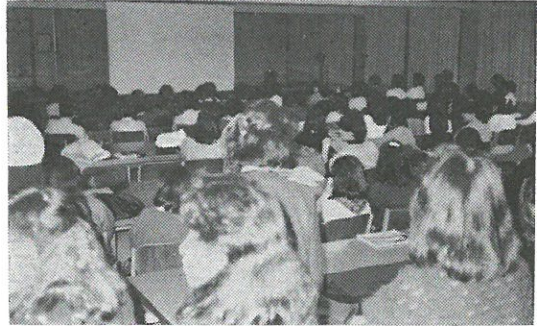
講談社学術文庫が開架書庫に

お気付きでしょうか。そう皆さんから要望の多かった講談社学術文庫の購入が決まり、昨年12月12日現在564冊が、開架書庫に入っすぐの所に岩波文庫等と同様まとめて置かれています。購入の要望が多かっただけに、貸出も多く利用者の皆さんからも好評で、担当者もハリキッテいます。

快進撃つづく映学会

固定ファンもいて好評の映学会が11月、12月と

空前の入りとなり、担当者がうれしい悲鳴をあげています。11月は「愛と青春の旅だち」を、さらに12月には「戦場のメリークリスマス」を上映し話題作の連発です。ともに上映開始前にすでに満席になり、上映中は立ち見すらあきらめる人が出る状態でした。今年は5月から始める予定です。



「愛と青春の旅だち」の上映前にすでに満席の会場

参考質問 Q & A

参考係カウンターには文献所在調査などさまざまな質問が毎日寄せられています。皆さんも遠慮しないで質問をどしどしお寄せ下さい。ただし身の上相談や投資相談はできません。

Q. 中国の後漢初期の歴史家、文学者班固 (32~92) と將軍班超 (32~102) は同年生まれの兄弟とあるが双子なのか。

A. 異母兄弟。出典として『漢書』の叙伝や『後漢書』の班超伝ならびに『世界伝記大事典 日本・朝鮮・中国編』などがある。

(参考質問記録から)

お知らせ

学年末試験に伴う日曜開館等は次のとおり
 白山：日曜開館 (1月18日・1月25日)
 川越：開館時間延長 (1/19~1/26) 日曜を除く
 月~金は17:45まで、土は14:50まで
 朝霞：開館時間延長 (1/20~2/5) 日曜を除く
 月~金は18:00まで、土は14:00まで
 ※詳細は各館にお問い合わせ下さい。

TOYO UNIVERSITY LIBRARY INFORMATION BULLETIN **ΚΟΣΜΟΣ**

1987 冬 (No. 76) 1987年1月15日発行 編集：コスモス編集委員会 発行人：劍持通夫 発行所：東洋大学附属図書館 〒112 東京都文京区白山5丁目28番20号 Tel. 03 (945) 7314 ©東洋大学附属図書館 1987